

無農薬栽培したさつまいもの活用 ～子ども食堂での食育イベント～

食育イベントを通して環境意識を高め、
地域貢献と学生の実践的学びを促進します。

環境問題への 意識向上

子どもたちが自然の恵みを体感し、環境保全の重要性を理解する機会を提供します。無農薬栽培の意義も伝えます。

地域社会への貢献

子ども食堂を通じて、地域の人々と繋がりを強化し、持続可能な社会を共に考えます。

学生の実践的学び

学生は無農薬栽培を経験し、具体的な農業知識を深め、子どもたちに教えることで自身の学びを強化します。

取組内容

無農薬さつまいも栽培や子ども食堂でのイベントを通じ、
食と環境の大切さを伝える。



子ども食堂での食育イベント (11月4日実施予定)

子ども食堂で無農薬さつまいもを使ったスイーツを提供し、調理体験を通じて子どもたちに食材への感謝と環境への理解を促しました。



無農薬さつまいもの栽培

農業の知識のない学生が試行錯誤しながら、地域の土地を利用して無農薬さつまいもを栽培しました。土壌づくりから始め、一連の栽培プロセスを学ぶことで環境への配慮を実感します。



竹を使ったワークショップ (11月4日実施予定)

子ども食堂のイベントの中で竹を使ったおもちゃで遊び、自然の重要性を再認識し、生活の中で環境保全を考えるきっかけを提供しました。

結果 (昨年の事例を参考に)

子どもたちの学び、学生の成長、地域連携強化の達成

01

子どもたちの学び

多くの子どもたちが無農薬栽培に興味を持ち、持続可能な農業の重要性を理解しました。栽培体験が環境意識を高める機会となりました。

02

学生の成長

学生たちは、無農薬栽培を通じて環境問題についての実践的な知識を身に付け、多様な経験から得た自信を次世代に伝える力を養いました。

03

地域社会との連携強化

子ども食堂との協力が地域との結束を生み、環境問題への共同アプローチを模索するための基盤が築かれました。